

今こそ歩みだそう！ 小金井新時代へ

西岡真一郎 さんに聞く



こがねい未来会議

小金井デザイン策定委員会

◆編集部：前号で語られていた新しい小金井に向けた新たなビジョンをつくるデザインについて、教えてください。

◆西岡真一郎：「ふるさと小金井の新しい時代を築き上げるには、新たなビジョンが必要です。それも、市民のみなさまと一緒につくること、市民参画と協働でデザインすることこそが重要とお話させていただきました。

デザインとは、現状を少しでも望ましいものに変えようとすることです。

小金井市をより良いまちにすることは、一朝一夕にはできません。また、行政主導のまちづくりでは、市民の希望を実現することは非常に困難なのが現状です。だからこそ、市民と行政が協力してアイデアを出し合い、未来の小金井をデザイン＝計画し、人と人がつながる小金井のまちづくりを実行しなくてはなりません。

そのための第一歩として、小金井市の将来像を幅広く議論できる市民と行政による座談会（仮称：こが

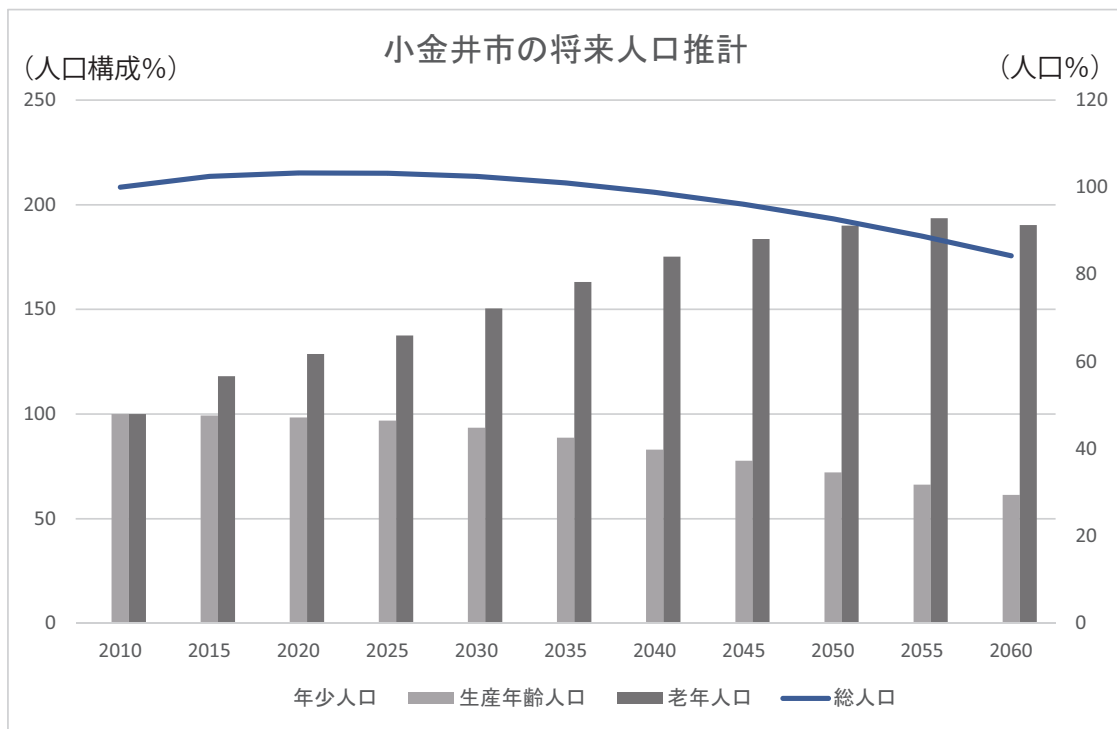
ねい未来会議）を地域毎に開催します。そのうえで、2020年（短期・5年後）、2030年（中期・15年後）、2050年（長期・35年後）の小金井の目標と将来像をつくる「小金井デザイン策定委員会」を開催して新たなビジョンをつくりたいと考えています。

市民と行政の知恵と力を結集した小金井デザインをつくり、新しい目標と具体的な将来像に向かって市民と行政が共に行動する小金井新時代を切り開くのです。

一緒につくりませんか？」

◆編集部：とても魅力的ですね。実現を楽しみにしています。

小金井の未来を考えてみよう!



ポイント!

年少・生産年齢人口は半減。
老年人口は倍近くに。

◆編集部：上記の図は、地方版総合戦略策定のために内閣官房と経産省が提供している地域経済分析システムRESAS（リーサス）による小金井市の将来人口推計です。2010年を100%として、年少人口（15歳未満）と生産年齢人口（15～65歳未満）、老年人口（65歳以上）がどのように変化するかを推計しています。折れ線グラフは人口推計です。左側の目盛り線をご覧ください。人口は微増後、減少していくなか、2060年には年少人口と生産年齢人口は2010年から約半分に減っていく一方、老年人口は倍近くになると推計されています。

このような小金井市の未来について、西岡真一郎さんに聞いてみました。

◆西岡真一郎：「はたらく世代が減少し高齢者が増加するこれからの人口構造の変化は、これからの市政の大きな課題です。

このまま手をこまねいているのではなく、持続可能な小金井市にしなければなりません。待機児対策や幼児教育、学校教育、学童保育など子どもを大切にすること。市民の皆さんがいつまでも健康でいられる政策を最重要しなければなりません。

私は小金井市の魅力は、市民力や地域力だと思っています。このような将来を見据えたビジョンを、小金井の新しい時代を今だからこそ、市民の皆さんと一緒にすることが必要です。未来を一緒に作りましょう！」

(次号へ続く)



▲西岡真一郎さん

市民力

地域力

◆西岡真一郎（にしおか しんいちろう）さんプロフィール◆

1969（昭和44）年5月11日生、46才、牡牛座◆無所属◆履歴：小金井市立南小学校、小金井市立第二中学校、都立清瀬高校、獨協大学経済学部卒業。自由民主党本部事務局、新党さきがけ本部事務局に勤務後、米国政府インターナショナル・ビジター・プログラム。1997年小金井市議会議員当選（2期8年）、2005年東京都議会議員（2期8年・民主党公認）、2013年3期目に挑むも惜敗。パピーナ本天沼保育園（認可）事務長◆主な地域活動：小金井市トライアスロン連合会長、小金井アクアスロン大会会長、小金井市遺族会会長代行、小金井薪能理事、こども達を薬害から守る実行委員会委員、阿波踊り連「むさし南連」理事、小金井青年会議所シニアクラブ理事、東京小金井ライオンズクラブ理事、NPO法人小金井桜を復活する会副理事長、NPO法人ファミリーステーション・SACHI副理事長 他

無所属
小金井育ち



小金井が好きだ!

小金井の未来を創る会 facebookはこちら

<https://www.facebook.com/nishiokashinichirou>

